

具体的な一連の雇用管理に関する援助の業務または実務の経験

	法人としての経験	事業運営責任者の経験	事業実施者の経験	
経験年数等	①氏名			
	②経験年数	11年	18年	18年
	③障害種別の経験		<input checked="" type="checkbox"/> 身体障害 <input checked="" type="checkbox"/> 知的障害 <input checked="" type="checkbox"/> 精神障害	<input checked="" type="checkbox"/> 身体障害 <input checked="" type="checkbox"/> 知的障害 <input checked="" type="checkbox"/> 精神障害
障害者の一連の雇用管理の援助に関する業務又は実務の具体的な経験	①経営陣の理解促進	障害者の受け入れを検討している事業所の職場開拓の実施。経営陣や雇用管理担当者に対して、障害者雇用のメリットや進め方について説明を行い理解促進を図った。	前職及び本法人にて、就労支援員、ジョブコーチとして支援を実施し、左記の業務に従事。	・本法人及び前職において、障害者雇用のコンサルティングを行い左記の業務に従事 ・前職にて企業向け障害者雇用促進セミナーを実施。
	②障害者雇用推進体制の構築	障害者雇用に興味を持った事業所に対して、職場内での受け入れ体制の構築、採用後の支援機関との連携体制の構築のための支援を実施。必要に応じてハローワーク、障害者職業センター等と連携した支援を行った。	前職及び本法人にて、就労支援員、ジョブコーチとして支援を実施し、左記の業務に従事。	本法人及び前職において、障害者雇用のコンサルティングを行い左記の業務に従事
	③社内での障害者雇用の理解促進	障害者の障害種別、障害特性、開き方等について、管理者および同僚を対象にして、研修会を実施。	前職及び本法人にて、就労支援員、ジョブコーチとして支援を実施し、左記の業務に従事。	本法人及び前職において、障害者雇用のコンサルティングを行い左記の業務に従事
	④当該事業所内における職務の創出・選定	職員から職務選定のアンケート実施の提案、他事業所の取り組み等を紹介しながら業務の切り出しに対する助言を実施。	前職及び本法人にて、就労支援員、ジョブコーチとして支援を実施し、左記の業務に従事。	本法人及び前職において、障害者雇用のコンサルティングを行い左記の業務に従事
	⑤採用・雇用計画の策定	支援機関のサポートを取り入れながらの中長期的な雇用計画についての提案、助言を行い、必要に応じてハローワーク、障害者職業センター等と連携した支援を実施した。	前職及び本法人にて、就労支援員、ジョブコーチとして支援を実施し、左記の業務に従事。	本法人及び前職において、障害者雇用のコンサルティングを行い左記の業務に従事
	⑥求人への申込みに向けた準備など募集や採用活動の準備	・採用を検討する職務について聴取し、求人内容について助言。 ・県の委託事業を受託し、福祉サービス事業所に対しての企業見学会を実施。企業の採用希望等を聴取し、マッチングの機会を提供した。	前職及び本法人にて、就労支援員として、左記の業務に従事。また、宮崎県の委託業務である「成長産業マッチング支援事業」を受託し、企業と障害者のマッチングの機会を提供した。	本法人及び前職において、障害者雇用のコンサルティングを行い左記の業務に従事。
	⑦社内の支援体制等の環境整備	障害者雇用や雇用管理の窓口となる担当者の設置を依頼。障害者雇用に対する課題確認のための場を設けながら、支援体制の強化を図った。	前職及び本法人にて、就労支援員、ジョブコーチとして支援を実施し、左記の業務に従事。	本法人及び前職において、障害者雇用のコンサルティングを行い左記の業務に従事
	⑧採用後の雇用管理や職場定着等	就労移行支援事業所からのフォローアップ、職場適応援助事業や就労定着支援事業での定着を支援。就職後も職場を訪問しながら、社内の支援体制構築をサポート。	前職及び本法人にて、就労支援員、ジョブコーチとして支援を実施し、左記の業務に従事。	・本法人では定着支援員として、サービス利用者への支援業務に従事(26件) ・前職では雇用管理、職場定着については相談、助言。必要に応じて他の支援機関のサポートを調整。

※事業運営責任者または事業実施者を複数名登録する場合は、2名以降の経験については別紙へ記載してください。

※(表面)1で、「対象障害者の一連の雇用管理に関する援助の業務についての実績を有する法人」を選択した場合は、下記の各項目について記載してください。

【過去3年間における実績】

- 援助の件数
  - 令和4年度から現在(令和7年12月現在)までの実施状況については、以下のとおりです。
  - 福祉サービスからの就職支援及び、雇用管理についての援助…32件
  - 就労定着支援事業…26件
  - 訪問型職場適応援助者によるジョブコーチ支援の実施開始者数…29件
  - その他の雇用援助業務(事業所からの依頼によるもの)…10件
- 支援業種
  - 食料品製造、製造業、小売・卸売業、運輸交通業、貨物取扱業、農林業、金融業、通信業、教育研究業、ビルメンテナンス業、官公署、サービス業、
- 具体的な支援内容
  - 採用前…障害者雇用の進め方について説明、障害種別の理解促進、職務選定についての助言見学会実施、職場実習の実施
  - 採用後…対象障害者の障害特性についての講話・研修会実施  
雇用管理についての助言  
採用後の定着支援(ジョブコーチ支援事業、定着支援事業等)

具体的な一連の雇用管理に関する援助の業務または実務の経験

		事業運営責任者の経験	事業実施者の経験	事業実施者の経験
経験年数等	①氏名			
	② 経験年数	年	34 年	年
	③ 障害種別の経験	<input type="checkbox"/> 身体障害 <input type="checkbox"/> 知的障害 <input type="checkbox"/> 精神障害	<input checked="" type="checkbox"/> 身体障害 <input checked="" type="checkbox"/> 知的障害 <input checked="" type="checkbox"/> 精神障害	<input type="checkbox"/> 身体障害 <input type="checkbox"/> 知的障害 <input type="checkbox"/> 精神障害
障害者の一連の雇用管理の援助に関する業務又は実務の具体的な経験	① 経営陣の理解促進		本法人において左記の業務に従事。また、前職では、障害者雇用促進業務に従事、企業開拓を行い経営陣の理解促進を行った。	
	② 障害者雇用推進体制の構築		本法人において左記の業務に従事。また、前職では、障害者雇用に興味を持った事業所に対して、職場内での受け入れ体制の構築、採用後の支援機関との連携体制の構築。	
	③ 社内での障害者雇用の理解促進		本法人において左記の業務に従事。また、前職では、障害者の障害種別、障害特性、関わり方等について、管理者および同僚を対象に研修会を実施。	
	④ 当該事業所内における職務の創出・選定		本法人において左記の業務に従事。また、前職では、職員から職務選定のアンケート実施の提案、他事業所の取り組み等を紹介しながら業務の切り出しに対する助言を実施。	
	⑤ 採用・雇用計画の策定		支援機関のサポートを取り入れながらの中長期的な雇用計画についての提案、助言。必要に応じてハローワーク、障害者職業センター等と連携した支援を行った。	
	⑥ 求人の申込みに向けた準備など募集や採用活動の準備		採用希望等を事業所から聴取した場合には、労働局やハローワークに協力を依頼し、見学会を実施してもらった。	
	⑦ 社内の支援体制等の環境整備		障害者雇用や雇用管理の窓口となる担当者の設置を依頼。障害者雇用に対する課題確認のための場面を設けながら、支援体制の強化を図った。	
	⑧ 採用後の雇用管理や職場定着等		就労移行支援事業所からのフォローアップ、就労定着支援事での定着を支援。就職後も職場を訪問しながら、社内の支援体制構築をサポート。	